

「自分の目で見て現実のものだと強く感じました」

ピースツアー・ピースアクション報告

パルコープでは毎年、「平和の大切さ」「被ばく体験を風化させず、次世代へ伝える」ためピースツアーを行なっています。戦後70年の今年も、被爆地ヒロシマ・ナガサキを訪れ、原爆のつめあとや平和資料館を見学し、平和の式典に参加しました。



ヒロシマツアー

8月4日～6日 16名参加



▲爆心地に近い元安橋でガイドさんの語りをきく

大久野島は元々この島があることも知らず、日本が毒ガスを作っていた事も知らなかったのが、今回の旅でこの事を知り良かったです。つめあとめぐりはガイドの方に説明してもらって詳しく内容を知る事ができ、今まで原爆ドームぐらいしか知らなかったのが為になりました。これから広島での原爆のニュースが流れるのもっと関心を持って観るようになると思います。

(都島区 Nさん)

ナガサキツアー

8月7日～9日 12名参加



長崎ピースツアーに子ども二人と参加しました。2日目3日目は被爆者の方の案内で被爆跡を巡り、原爆資料館見学、ピースフォーラム、慰霊祭に参加。つねづね子どもたちに戦争のことは語り聞かせていますが、私が見る範囲でしかできません。今回、実際に身をもって学ぶことで理解が深まりました。

(住之江区 Fさん)

原ばくのがよくわかりました。戦争はよくないことですのでごめだと言ったことがわかりました。なんで戦争をしようと思ったのかなと思いました。戦争をして良いことはないと思います。これからも世界全体で戦争をやってほしくないと思います。

(鶴見区 根岸くん・11歳)

ピースアクションin ナガサキ虹のひろばで上演された音楽詩「ノーマア・ヒバクシャ」



広島での日生協主催「ピースアクション」に今年もパルコープから組合員活動委員会メンバー9名が参加しました。(8月5日)

地域や組合員活動委員会メンバーで500個以上作成した、平和のメッセージ付のピースのプレスレットが大好評でした

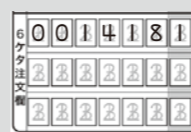


今回、たくさんの資料や写真、展示物を見てきました。目をそらしたくなる、見るのもつらいものがたくさんありましたが、添えられたエピソードは、どれも本当に胸が詰まるものばかりでした。写真や遺品と向き合い、痛みを想像し、訴えに耳を傾ける。その時に感じたことに正直であることが、私たちの進むべき方向なのだと思います。今回、実際に広島を訪れて写真や遺品と向き合う機会をいただいたことに感謝します。また、一人でも多くの方に見てほしいと思いましたし、私自身もこの想いを忘れないためにこれからもこのような機会を持続することを大切にしたいと思いました。

(枚方市 川端さん)

平和を守る募金にご協力をお願いします

「ピースツアー」「ピースアクション」や地域の平和のとりくみなどに使わせていただきます。募金は注文書の6ケタ注文欄に「001418」と金額を記入ください。eフレンズでも募金できます。



NO.69

被災者に寄り添い、絆をつなげる支援活動を

8月下旬から遠野を拠点に大学生のボランティアがリレー方式でやってきてくれています。2大学から7チーム・66名です。活動は、被災地全体の視察から始まり、漁業・農業の生業復興のお手伝いをしてもらい、地元飲食店で昼食を取り、最後にどのチームも仮設住宅などでお茶っこ交流会をしてもらっています。

大学1・2年生は、震災当時はまだ中学生。改めて震災からの年月、4年半を実感します。実際に現地に足を運ぶことで、大学生の思いが現地ニーズと違っていることに気づいてもらえる場面もあります。「もっとガッツリ汗を流すボランティアをイメージしていた…」という感想に、「活動は皆さんがこの場で今するだけでなく、皆さんが見聞きしたことを伝えてもらったり、これからの人生に活かしていくことも大事なボランティアですよ…」と、地元語り部(今号1ページの武蔵さん)の一言に納得いただいたようです。またお茶っこでは、住民の方からは孫とおしゃべりするよう、学生に「将来の夢」を尋ねておられたことも印象的でした。

帰り際に、学生らしく「振り返りワークショップ」を行なっています。出された「気づきカード」から私が教えられたことを紹介させていただきます。

- ・「もっと復興が進んでいると思っていたので、何よりショックです」
- ・「辛い経験話を話してもらったことを忘れてはいけない」
- ・「事前にもっと勉強してきたら、もっと意見交換できたと反省です」
- ・「観光こそ、被災地のためになるボランティアということを伝える」
- ・「社会人になれば、三陸でとれたものをもっと買うこと」
- ・「孤独を防ぐためのコミュニティづくりは被災地に留まらない問題です」

(岩手県遠野市に常駐するパルコープボランティア事務局・林さんより)



ずっとボラの会(東北応援バス参加者の有志の会)よりお知らせ

<今後の予定> ぜひ、お立ち寄りくださいね。

日程	会場
10月4日(日)	星ヶ丘店
10月25日(日)	城北公園(あさひ福祉まつり)
11月8日(日)	忍ヶ丘店

時間は10時～15時です。

パルコープの店舗一覧はこちら。
<http://www.palcoop.or.jp/shopping/shop/index.html>

店頭で東北グッズ販売と募金活動などを行いました。
◎東都島店(9月6日) 売上げ58,290円と募金2,158円

パル・よどがわ・なら
組合員さんの

2015年度 第3回 東北応援バス報告

私は、今回が初めてでした。5年生から行っていいとなって、6年の人も来ていて、友達になれました。山車のそのじや、草むしりなど、やくにたったか、分かりませんが、自分ではとてもがんばったと思います。
ながしそうめんや、七夕祭で使う、たいこをたたかせてもらって、私たちはボランティアという形で来ているのに、とても楽しませてもらうばかりで、もつとがんばらないと、と思
ました。
(東住吉区・原田さん)



地元の方に祭りの太鼓を教えてもらう参加者

初めて、6年の息子と二人参加させていただきました。作業に関しては、本当少しのことで先方のお役に立てたのか：七夕の山車に聞かれて光栄でした。ほん
とに!!
印象的なのは皆さんが「避難所、備蓄の確認」と強くおっしゃっていたことです。改めて、どこがそのなか確認しようと思っております。万が一にも何かの災害で逃げるにいたり、誘導・引率できる立場でないといけないと思いましたが、悲しみや苦しみをかかえながら前向きに生きる東北の皆様、心中お察しするのみでもできませんが、又ボランティアに参加して、復興の様子を見守りたいと思います。
(門真市・東口さん)



「まちづくり情報館」でお話をききました(中央は語り部の釘子さん)

ご協力ありがとうございます

東北支援募金の状況(2015年3月21日～2015年8月20日)
15,060,442円 (うち、「陸前高田花火大会実行委員会」への協賛金として100万円寄贈しました)